



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場会社名 富士重工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7270 URL <http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉永 泰之

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 山藤 和典

TEL 03-3347-2005

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	428,895	42.8	17,332	62.5	19,128	63.6	16,354	△42.5
24年3月期第1四半期	300,393	△18.9	10,668	△52.9	11,691	△51.7	28,454	48.7

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 9,183百万円 (△67.8%) 24年3月期第1四半期 28,530百万円 (166.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	20.95	—
24年3月期第1四半期	36.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,353,769	457,276	33.7
24年3月期	1,352,532	451,607	33.3

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 455,956百万円 24年3月期 450,302百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	4.50	—	4.50	9.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	4.50	—	4.50	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	910,000	38.9	32,000	70.6	30,000	39.1	23,000	△29.8	29.47
通期	1,860,000	22.6	67,000	52.4	63,000	69.0	48,000	24.8	61.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	782,865,873 株	24年3月期	782,865,873 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	2,405,350 株	24年3月期	2,406,736 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	780,459,549 株	24年3月期1Q	780,261,681 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件及びその他に関する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」を参照してください。

<添付資料 目次>

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
四半期連結損益計算書.....	7
四半期連結包括利益計算書.....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	11
(5) 連結の範囲及び持分法適用の範囲の変更.....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	11
(7) その他注記情報.....	11
(8) セグメント情報等.....	12
(9) 重要な後発事象.....	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、自動車売上台数の増加などにより、4,289億円と前年同期比1,285億円（42.8%）の増収となりました。

利益面につきましては、売上高の増加に伴い、営業利益が173億円と前年同期比67億円（62.5%）の増益となり、経常利益につきましても、191億円と前年同期比74億円（63.6%）の増益となりました。なお、四半期純利益につきましては、前年同期において新宿スバルビルの売却に伴う特別利益261億円の計上があったことなどにより、164億円と前年同期比121億円（42.5%）の減益となりました。

[セグメントの状況]

第1四半期連結累計期間のセグメントの状況は以下のとおりです。

①自動車事業部門

国内におけるスバルの登録車販売は、昨年度下期に発売した「インプレッサ」、「SUBARU BRZ」が好調を維持していることに加え、5月に直噴ターボエンジンを搭載するなどの一部改良を行った「レガシィ」が台数の上積みで寄与したことにより、売上台数は18千台と前年同期比2千台（13.1%）の増加となりました。

一方、軽自動車につきましては、軽乗用系が好調に推移するものの、「サンバー」の落ち込みをカバーできず、売上台数は13千台と前年同期比2千台（12.9%）の減少となりました。

これらの結果、国内における売上台数の合計は31千台と前年同期比0.1千台（0.3%）の増加となりました。

海外につきましては、「インプレッサ」を中心として販売が好調に推移していることに加え、震災影響から回復したことなどにより、ほぼ全地域で前年同期の売上台数を上回りました。

地域別の売上台数は、北米で89千台と前年同期比28千台（46.9%）の増加、ロシアを含む欧州で18千台と前年同期比9千台（95.3%）の増加、豪州で12千台と前年同期比5千台（70.0%）の増加、中国で11千台と前年同期比5千台（81.0%）の増加、その他地域で5千台と前年同期比0.4千台（9.4%）の増加となりました。

これらの結果、海外における売上台数の合計は135千台と前年同期比47千台（54.2%）の増加となりました。

以上の結果、国内と海外の売上台数の合計は166千台と前年同期比48千台（40.2%）の増加となり、全体の売上高は、3,963億円と前年同期比1,239億円（45.5%）の増収となりました。また、セグメント利益につきましても、156億円と前年同期比60億円（62.5%）の増益となりました。

②航空宇宙事業部門

防衛省向け製品では、「無人偵察機システム」、固定翼哨戒機「P-1」の売上が増加しましたが、多用途ヘリコプター「UH-1J」の契約終了等により売上高は前年同期を下回りました。

民間向け製品では、「ボーイング777」、「ボーイング787」の売上が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、全体の売上高は184億円と前年同期比15億円（9.1%）の増収となりました。セグメント利益につきましては、売上構成の影響などにより、2億円と前年同期比5億円（69.5%）の減益となりました。

③産業機器事業部門

北米販売子会社のエンジン販売が減少したことなどにより、売上高は84億円と前年同期比3億円（2.9%）の減収となりました。セグメント利益につきましては、売上構成の改善により、3億円と前年同期比3億円の増益となりました。

④その他事業部門

大型風力発電システムを新たに4基納入したことに加え、塵芥収集車「フジマイティ」の売上台数が前年同期に対し増加したことなどにより、売上高は58億円と前年同期比34億円（138.0%）の増収となりました。セグメント利益につきましても、11億円と前年同期比8億円（330.4%）の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、1兆3,538億円と前期末に比べ12億円の増加となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が110億円減少したものの、新たに海外の販売子会社を連結範囲に含めたことによる資産の増加があったことなどであります。

負債につきましては、8,965億円と前期末に比べ44億円の減少となりました。主な要因は、社債を200億円償還し、100億円発行したことなどであります。

純資産につきましては、4,573億円と前期末に比べ57億円の増加となりました。主な要因は、四半期純利益を計上したことなどにより、利益剰余金が128億円増加したことなどであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、2,745億円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は393億円（前年同四半期は197億円の減少）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益を190億円計上したことに加え、売上債権の減少166億円があったことなどであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は172億円（前年同四半期は275億円の増加）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出（売却による収入との純額）120億円などでありま

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は243億円（前年同四半期は624億円の増加）となりました。主な要因は、社債の償還による支出（発行による収入との純額）100億円に加え、短期借入金の減少92億円があったことなどであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年5月8日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

なお、平成25年3月期第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想の前提となる為替レートは、以下のとおり一部見直しております。

<第2四半期連結累計期間>

1米ドル80円（前回公表80円）、1ユーロ102円（前回公表105円）

<通期>

1米ドル80円（前回公表80円）、1ユーロ99円（前回公表105円）

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等合計に含めて表示しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	237,614	146,828
受取手形及び売掛金	117,062	106,111
リース投資資産	21,865	21,553
有価証券	31,635	147,311
商品及び製品	121,686	119,805
仕掛品	56,143	52,320
原材料及び貯蔵品	33,715	32,282
繰延税金資産	17,399	18,285
短期貸付金	78,788	84,223
その他	48,019	42,334
貸倒引当金	△1,395	△1,599
流動資産合計	762,531	769,453
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	113,359	111,843
機械装置及び運搬具（純額）	99,222	96,835
土地	171,920	172,639
賃貸用車両及び器具（純額）	12,361	20,058
建設仮勘定	12,023	13,802
その他（純額）	17,206	17,384
有形固定資産合計	426,091	432,561
無形固定資産		
その他	11,818	12,110
無形固定資産合計	11,818	12,110
投資その他の資産		
投資有価証券	77,714	69,014
繰延税金資産	1,873	3,567
その他	76,089	70,678
貸倒引当金	△3,584	△3,614
投資その他の資産合計	152,092	139,645
固定資産合計	590,001	584,316
資産合計	1,352,532	1,353,769

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	251,043	239,620
短期借入金	71,040	79,720
1年内返済予定の長期借入金	23,786	24,906
1年内償還予定の社債	20,010	10
未払法人税等	4,600	2,528
未払費用	69,437	61,405
賞与引当金	16,478	24,901
製品保証引当金	28,861	28,410
工事損失引当金	2,841	3,327
事業譲渡損失引当金	4,177	4,158
その他	69,362	80,657
流動負債合計	561,635	549,642
固定負債		
社債	4,070	14,070
長期借入金	222,074	219,385
繰延税金負債	22,740	20,592
退職給付引当金	33,950	34,598
役員退職慰労引当金	469	411
その他	55,987	57,795
固定負債合計	339,290	346,851
負債合計	900,925	896,493
純資産の部		
株主資本		
資本金	153,795	153,795
資本剰余金	160,071	160,071
利益剰余金	188,538	201,379
自己株式	△1,259	△1,259
株主資本合計	501,145	513,986
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,966	15,830
為替換算調整勘定	△69,809	△73,860
その他の包括利益累計額合計	△50,843	△58,030
少数株主持分	1,305	1,320
純資産合計	451,607	457,276
負債純資産合計	1,352,532	1,353,769

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	300,393	428,895
売上原価	236,003	343,407
売上総利益	64,390	85,488
販売費及び一般管理費	53,722	68,156
営業利益	10,668	17,332
営業外収益		
受取利息	262	319
受取配当金	308	282
持分法による投資利益	456	72
不動産賃貸料	129	153
デリバティブ評価益	1,715	8,872
その他	759	186
営業外収益合計	3,629	9,884
営業外費用		
支払利息	908	911
為替差損	638	6,580
その他	1,060	597
営業外費用合計	2,606	8,088
経常利益	11,691	19,128
特別利益		
固定資産売却益	26,325	58
投資有価証券売却益	146	326
その他	11	4
特別利益合計	26,482	388
特別損失		
固定資産除売却損	173	412
災害による損失	5,704	—
その他	26	111
特別損失合計	5,903	523
税金等調整前四半期純利益	32,270	18,993
法人税等合計	3,800	2,623
少数株主損益調整前四半期純利益	28,470	16,370
少数株主利益	16	16
四半期純利益	28,454	16,354

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	28,470	16,370
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,727	△3,136
為替換算調整勘定	△1,825	△4,133
持分法適用会社に対する持分相当額	158	82
その他の包括利益合計	60	△7,187
四半期包括利益	28,530	9,183
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,516	9,167
少数株主に係る四半期包括利益	14	16

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	32,270	18,993
減価償却費	12,907	13,327
賞与引当金の増減額（△は減少）	8,227	8,374
製品保証引当金の増減額（△は減少）	△639	173
工事損失引当金の増減額（△は減少）	△578	486
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△146	486
受取利息及び受取配当金	△570	△601
支払利息	908	911
デリバティブ評価損益（△は益）	△1,715	△8,872
持分法による投資損益（△は益）	△456	△72
固定資産除売却損益（△は益）	△26,152	354
売上債権の増減額（△は増加）	△5,704	16,624
たな卸資産の増減額（△は増加）	△8,745	7,307
仕入債務の増減額（△は減少）	△21,372	△11,627
リース投資資産の増減額（△は増加）	913	312
営業貸付金の増減額（△は増加）	△820	△3,526
貸貸用車両及び器具の増減額（△は増加）	1,268	△9,206
預り金の増減額（△は減少）	3,347	8,489
その他	△9,377	4,263
小計	△16,434	46,195
利息及び配当金の受取額	614	626
利息の支払額	△806	△941
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△3,093	△6,538
営業活動によるキャッシュ・フロー	△19,719	39,342
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,151	△2,035
有価証券の売却による収入	1,106	1,037
有形固定資産の取得による支出	△8,375	△12,435
有形固定資産の売却による収入	34,097	483
無形固定資産の取得による支出	△713	△908
投資有価証券の取得による支出	△4,423	△2,313
投資有価証券の売却による収入	3,633	3,157
貸付けによる支出	△19,885	△24,619
貸付金の回収による収入	21,905	23,588
その他	1,320	△3,192
投資活動によるキャッシュ・フロー	27,514	△17,237

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	12,115	△9,215
長期借入れによる収入	75,670	—
長期借入金の返済による支出	△1,947	△1,588
社債の発行による収入	—	10,000
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
配当金の支払額	△3,277	△3,306
その他	△194	△207
財務活動によるキャッシュ・フロー	62,367	△24,316
現金及び現金同等物に係る換算差額	△836	△2,672
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	69,326	△4,883
現金及び現金同等物の期首残高	227,704	258,084
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	32	21,320
現金及び現金同等物の四半期末残高	297,062	274,521

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）
該当事項はありません。

(5) 連結の範囲及び持分法適用の範囲の変更

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）
（連結の範囲の変更）

スバル オブ チャイナ LTD. 他3社は、重要性が増したことにより、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

（持分法適用の範囲の変更）

スバル オブ チャイナ LTD. 他1社は、重要性が増したことにより、当第1四半期連結会計期間より持分法適用の範囲から連結の範囲に変更しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）
該当事項はありません。

(7) その他注記情報

（四半期連結損益計算書関係）

前第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）
（特別利益）

固定資産売却益のうち、26,143百万円は当社と当社の連結子会社であるスバル興産株式会社が新宿スバルビルおよび同敷地を小田急電鉄株式会社に売却したことによるものであります。

（特別損失）

災害による損失は東日本大震災によるものであり、主に操業等低下分の固定費用であります。

(8) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車	航空宇宙	産業機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	272,459	16,860	8,628	297,947	2,446	300,393	—	300,393
セグメント間の内部 売上高又は振替高	649	—	22	671	3,095	3,766	△3,766	—
計	273,108	16,860	8,650	298,618	5,541	304,159	△3,766	300,393
セグメント利益	9,605	747	27	10,379	250	10,629	39	10,668

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塵芥収集車製造、特殊車両製造、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車	航空宇宙	産業機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	396,310	18,386	8,377	423,073	5,822	428,895	—	428,895
セグメント間の内部 売上高又は振替高	848	—	16	864	3,512	4,376	△4,376	—
計	397,158	18,386	8,393	423,937	9,334	433,271	△4,376	428,895
セグメント利益	15,606	228	309	16,143	1,076	17,219	113	17,332

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塵芥収集車製造、特殊車両製造、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(9) 重要な後発事象

(風力発電システム事業の事業譲渡)

当社は、エコテクノロジーカンパニーが展開する風力発電システム事業を平成24年7月1日に株式会社日立製作所に譲渡いたしました。

①事業分離の概要

(a) 分離先企業の名称

株式会社日立製作所

(b) 分離した事業の内容

当社の風力発電システム事業

(c) 事業分離を行った主な理由

本事業譲渡により、自動車をはじめとした他事業への経営資源の集中を図ります。

(d) 事業分離日

平成24年7月1日

(e) 法的形式を含むその他取引の概要に関する事項

受取対価を現金等の財産のみとする事業譲渡

②実施した会計処理の概要

本事業譲渡に伴う損失は、平成24年3月期に計上した事業譲渡損失引当金に含まれております。

③分離した事業が含まれていた報告セグメント

報告セグメントには含まれず、「その他」に区分しております。

④四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

	<u>累計期間</u>
売上高	3,252百万円

〈 2013年3月期 第1四半期決算 参考資料 〉

<単位>金額：億円、台数：千台、比率：％

	前期実績 2012年3月期 第1四半期 (2011.4.1~2011.6.30)	当期実績 2013年3月期 第1四半期 (2012.4.1~2012.6.30)			当期予想 2013年3月期 第2四半期累計 (2012.4.1~2012.9.30)			当期予想 2013年3月期 通期 (2012.4.1~2013.3.31)		
		増減	増減率	増減	増減率	増減	増減率	増減	増減率	
売上高	3,004	4,289	1,285	42.8	9,100	2,550	38.9	18,600	3,429	22.6
国内	988	1,427	438	44.3	3,129	884	39.4	6,278	1,293	25.9
海外	2,016	2,862	847	42.0	5,971	1,666	38.7	12,322	2,136	21.0
営業利益 (利益率)	107 3.6	173 4.0	67	62.5	320 3.5	132	70.6	670 3.6	230	52.4
経常利益 (利益率)	117 3.9	191 4.5	74	63.6	300 3.3	84	39.1	630 3.4	257	69.0
当期純利益 (利益率)	285 9.5	164 3.8	△ 121	△ 42.5	230 2.5	△ 98	△ 29.8	480 2.6	95	24.8
営業利益増減要因		売上構成差等 原価低減等 諸経費等増 為替レート差 試験研究費増	334 40 △ 246 △ 37 △ 24		売上構成差等 原価低減等 諸経費等増 試験研究費増 為替レート差	483 157 △ 423 △ 47 △ 38		売上構成差等 原価低減等 諸経費等増 試験研究費増 為替レート差	514 263 △ 497 △ 49 △ 1	
為替レート	82円/US\$ 117円/EURO	81円/US\$ 106円/EURO			80円/US\$ 102円/EURO			80円/US\$ 99円/EURO		
設備投資	140	113			360			720		
減価償却費	116	119			260			600		
試験研究費	106	130			276			530		
有利子負債残高	3,965	3,381			3,400			3,300		
業績評価		売上高過去最高 2期ぶりの増収 2期ぶりの当期純利益減益			売上高過去最高 2期ぶりの増収 2期連続の当期純利益減益			売上高過去最高 2期ぶりの増収 2期ぶりの当期純利益増益		
日本売上台数	31	31	0	0.3	75	3	3.6	145	△ 27	△ 15.6
登録車	16	18	2	13.1	47	12	32.1	95	15	18.4
軽自動車	15	13	△ 2	△ 12.9	28	△ 9	△ 24.3	51	△ 42	△ 45.2
海外売上台数	88	135	47	54.2	281	87	45.2	575	108	23.1
北米	61	89	28	46.9	180	51	40.1	356	47	15.3
欧州	9	18	9	95.3	40	20	98.0	82	28	50.1
中国	6	11	5	81.0	28	9	48.5	62	14	28.4
その他	12	17	5	45.7	33	7	27.0	75	19	35.0
連結売上台数総計	118	166	48	40.2	356	90	33.8	721	81	12.7
生産台数合計	111	182	71	63.7	365	119	48.2	768	129	20.2
日本	78	137	59	75.7	278	100	56.3	598	130	27.9
米国	33	45	12	35.9	87	19	27.1	169	△ 1	△ 0.9
売上高 事業別	自動車 航空宇宙 産業機器 その他	2,725 169 86 24	3,963 184 84 58	1,239 15 △ 3 34	45.5 9.1 △ 2.9 138.0					
営業利益 事業別	自動車 航空宇宙 産業機器 その他	96 7 0 3	156 2 3 11	60 △ 5 3 8	62.5 △ 69.5 1,044.4 330.4					
消去・全社	0	1	1	189.7						

注1. 金額：億円（億円未満を四捨五入）、台数：千台（百台以下を四捨五入）、比率：％（小数点第2位を四捨五入）

注2. 為替レートは富士重工業単独売上レート

注3. 連結売上台数は、国内連結対象販社の小売、海外連結対象販売統括会社の卸売、非連結対象会社に対する富士重工業の出荷などの合計値

※上記の当期業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる可能性があります。



2012年8月3日

富士重工業 2013年3月期 第1四半期連結業績の概要

<2013年3月期 第1四半期業績：連結売上高>

スバル車の海外販売は、インプレッサ等の販売が好調に推移したことにより、米国市場では第1四半期として過去最高*となる82千台を販売するなど、ほぼ全ての市場で前年同期を上回りました。この結果、前年が震災による減産の影響があったこともあり、前年同期比54.2%増の135千台と大きく伸張しました。一方、国内販売においては、軽自動車が前年を下回ったものの、登録車はレガシィ、インプレッサの商品力強化と、今年3月に投入した新型車スバルBRZの寄与により前年を上回ったことから、同0.3%増の31千台となり、全世界合計の販売台数は第1四半期として過去最高*となる同40.2%増の166千台となりました。

連結売上高は、売上台数の増加により、第1四半期として過去最高*となる同42.8%増の4,289億円となりました。

<2013年3月期 第1四半期業績：連結損益>

第1四半期の連結損益は、新型車導入等により販管費や製造固定費などの諸経費が増えたものの、売上高の増加により、営業利益は前年同期比62.5%増となる173億円、経常利益は同63.6%増の191億円となりました。なお、純利益は前年同期において本社ビル売却による特別利益261億円があったことなどにより、同42.5%減の164億円となりました。

<2013年3月期 通期業績見通し>

通期連結業績見通しについては、為替の円高進行や、欧州経済の動向、国内でのエコカー補助金終了後の反動減等、不透明な要素があることから、前回（2012年5月8日）発表値を据え置きます。

なお、通期連結業績見通しの前提となる為替レートは¥80/US\$、¥99/EUROです。

通期連結業績予想（2012年5月8日公表）

売上高1兆8,600億円、営業利益670億円、経常利益630億円、当期純利益480億円、
想定為替レート¥80/US\$、¥105/EURO

* 四半期決算の開示を始めた2005年3月期以降の過去最高

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。